

各社車両の使用上の注意点

メーカー	車種	注意点
日産自動車	リーフ、リーフ e+ e-NV200	<ul style="list-style-type: none"> ・車両と V2X 充放電装置の充放電コネクタを接続した状態で「EV-IT」機能は使用しないでください。EV および本装置の機能が正常に動作しない可能性があります。 ・対応車種の中でも車両側のプログラムを変更する必要がある車両があります。車両のプログラム変更に関しては、車両販売店へお問い合わせください。 ・車両の仕様により、充電できる容量や給電できる容量が制限されます。車両の仕様については車両販売店に確認ください。 ・LEAF（充電専用車両）は 60 分で充電が停止します。充電を継続される場合は、改めて運転開始を行ってください。 ・1 日のうち継続で 10 分間は運転停止（停止または車両と通信しない待機）時間を設けてください。
三菱自動車工業	アウトランダー PHEV MiEV シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・急速充電口が付いていない車両では、V2X 充放電装置による充電・給電はできません。 ・対応車種の中でも車両側のプログラムを変更する必要がある車両があります。車両のプログラム変更に関しては、車両販売店へお問い合わせください。 ・給電に対応していない車両は、V2X 充放電装置の放電機能を使用できません。 ・i-MiEV の型式「HA3W」、MINICAB-MiEV VAN の型式「U67V」の車両は、車両側のプログラムの変更が必要になる場合があります。給電対応の可否について、事前に車両販売店にご確認ください。 ・i-MiEV、MINICAB-MiEV VAN、MINICAB-MiEV TRUCK、アウトランダー-PHEV のうち型式「GG2W」の車両は、駆動用バッテリーの容量維持のため、できる限り 2 週間に 1 回程度は普通充電で満充電してください。 ・i-MiEV、MINICAB-MiEV VAN、MINICAB-MiEV TRUCK は、低負荷で長時間 V2X 充放電装置をご利用の場合、車両から給電を停止させる場合があります。ある程度負荷がある状態(450W 以上)でご使用ください。 ・[MiEV シリーズ共通] V2X 充放電装置で給電時、駆動用バッテリー残量がおおよそ 30%になるまでご利用可能です。 ・アウトランダー-PHEV の型式 GG2W-00 で始まる車両は、V2X 充放電装置で給電時、駆動用バッテリー残量がおおよそ 40%になるまでご利用可能です。上記以外の車両は、V2X 充放電装置で給電時、駆動用バッテリー残量がおおよそ 20%になるまでご利用可能です。 ・MiEV リモート、もしくは三菱リモートコントロールのうち「タイマー充電」と「プレ空調」はご使用になることができません。 ・アウトランダー-PHEV はエンジンがかかった状態、もしくはイグニッション ON の状態では V2X 充放電装置による充電・給電はできません。 ・一般的なりチウムイオンバッテリーと同様に時間の経過や使用状況により、車両のバッテリー容量は低下します。特に V2X 充放電装置を使い連続で

		<p>充放電 し続ける定置型蓄電池のような使い方は低下の割合が大きくなります。</p> <p>バッテリーの容量低下を抑えるため、V2X 充放電装置による一日あたりの充放 電量は車両のバッテリー総電力量以内を目安にご使用ください。</p> <p>(例：アウトランダーPHEV のバッテリー総電力量：13.8kWh)</p> <ul style="list-style-type: none"> • V2X 充放電装置の利用においても駆動用バッテリーの容量保証は適用されます。ただし、車両を走行に使用せず長期的に V2X 充放電装置のみで利用する場合、保証が適用されないことがあります。
トヨタ 自動車	<p>プリウス PHV (発売：2019 年 5 月以前)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 急速充電インレットのオプション装備が必要です。 • 給電はできませんが、充電はできます (ただし、満充電量の約 80%まで)。
	<p>プリウス PHV (発売：2019 年 5 月以降)</p>	<p>急速充電インレット (外部給電機能[V2H]付) のオプション装備が必要です。</p>
	<p>MIRAI</p>	<p>給電する場合は販売店まで事前にご相談ください。</p>
Mercedes- Benz	<p>EQS EQS SUV EQE S 580 e 4MATIC long (MP202301 以降)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 充電／放電電力が非常に小さい場合には、車両からの要求により停止することがあります。 コネクタを抜き挿しすることで、運転可能となります。 • 車両の状態により、車両側と本機の充電・放電電力の表示が異なる場合があります。 • 充電量が車両の充電上限設定値に達していると放電を行わない場合があります。